
南アフリカ軍事史 1975 - 1988

きらと

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

南アフリカ軍事史1975 - 1988

【Nコード】

N9344Z

【作者名】

きらと

【あらすじ】

過度な期待はしないで下さい。個人的にまとめた内容です。引用して間違っただけでも当方では責任を負いません。

1・RecceとかEOについて

小説やTV、ゲームの主人公は危機に陥っても最後には勝つ。シユワルツエネツガー主演の「コマンドー」では、元コマンドー隊員のメイトリックス大佐が単身、敵地に乗り込み暴れまわった。

そんなヒーローの活躍に、幼い頃の誰しもが憧れるだろう。

自称元グリーンベレー大尉の日本人作家がいる。彼の経歴ではコンゴ動乱に参加したと言う。

彼の作品の影響で、アフリカの紛争や内戦の影に傭兵のロマンを感じ、精強な男たちに幻想を抱いた。しかし大人になると夢も覚める。グリーンベレー云々は、広告戦略であり経歴詐称なのかもしれない。

彼の経歴の真偽はともかく、一騎当千の男たちがアフリカには実在した。

ローデシアSASやセルース・スカウト。南アフリカのRecceや第32大隊。南西アフリカのKoevoetがそれだ。(ローデシアSAS、セルーススカウト、第32大隊、Koevoetについては後述)

COIN作戦で戦果をあげた彼らは、政治的な敗北により歴史の表舞台から姿を消した。

冷戦時代、米国は反共を条件に軍事独裁政権を支援した。アパルトヘイトを掲げる南アフリカやローデシアもその一つだ。

東西融和のデタント時代以降には世界情勢も大きく変動し、援助も打ち切られる事となる。大国の都合に翻弄された戦争を長引かせられた彼らも被害者である。

南アフリカ国防軍は実際、20年前までSouth African Border Warでソ連・中国・東ドイツ・キューバが周辺諸国に軍事顧問団を送り込み、それを相手に30年近く戦争し

ていたので、精強と言えたが、その不正規特殊作戦は人道的にも問題点が多く、単純に戦果を絶賛する事は出来ない。RENAMOへの支援も例としてあげられる。

South African Border Warとはなにか？ 1966年から1989年まで、ポルトガル植民地戦争とその延長でアンゴラと、南西アフリカを舞台に複数の国家・団体が入り乱れて戦った戦争の事で、ポルトガルの脱落が大きく影響を与えている。

ポルトガル植民地戦争が首都リスボンで発生したカーネーション革命の結果、海外州の独立で終わると、ポルトガル領東アフリカはモザンビークとして独立した。隣接するローデシアは危機感を覚え、RENAMOを組織してモザンビーク領内で破壊活動を実施する。ローデシアがジンバブエとして独立後は、南アフリカがスポンサーとなる。

このRENAMOだが、子供を誘拐して兵士として育て上げるなど非人道的行為を行っていた。少数精鋭の特殊部隊は格好が良いと全てを肯定するわけにはいかない。

南アフリカ国防軍の行った最初の特殊作戦は1968年のピアフラだ。

当時の実戦部隊として、銃剣の交差したx印の部隊章を付けた作戦実験チーム(Operational Experiment al Team)が存在した。

Recceの名称が歴史の表舞台に登場したのはローデシア紛争の最中だ。

当時アフリカに於ける反共の最前線として周辺を囲まれていたローデシアは、連日の戦闘で疲弊しながらも南アフリカの支援で維持されていた。そんな中、SADFからローデシアSASのD中隊としてブレイテンバッハ大尉たちが派遣された。(ブレイテンバッハは、第1偵察コマンドーと第32大隊の初代指揮官として軍事史に

名前を刻んでいる。最近出版された、ローデシアのファイアーフォースの書籍に付属しているDVDにも出演しており存命が確認される)

ローデシアSASは1950年代に、マラヤスカウトを前身とする英国陸軍SASのC中隊から伝統を継ぐ部隊だ。

COIN (Counter Insurgency) 作戦の真髄を実戦で学び取った彼らは、南アフリカに帰国後、SADFに習熟した部隊運用や戦技を反映させて、1972年10月1日に第1偵察コマンドー (1 Reconnaissance Commando) が誕生する。小説やゲームにも出てくるレックス・コマンドーだ。

記述を色々見ていると年代が前後するが、第1偵察コマンドーは1966年8月26日に、最初のCOIN作戦を実施している。指揮官はJ・D・ブレイテンバッツ八大尉。目的は、SAPの支援をしてSWAPOの訓練基地を叩く事。

その後、特殊部隊は増殖していき1974年6月1日にハンターグループ (Hunter Group) を母体に第2偵察コマンドー、1976年5月1日に第3偵察コマンドー、12月5日に第5偵察コマンドーが、1978年7月14日に第4偵察コマンドーが、1980年3月14日にはローデシアSASを母体に第6偵察コマンドーが編成された。

Recceは、南アフリカ境界戦争で周辺国に越境作戦を展開した。ローデシアが消滅した後は、セルーススカウト、SASメンバーがSADFに加わり人材面で拡充される。

冷戦後は紆余曲折を経て、特殊部隊旅団として再編成された。

傭兵としての物語を書くには、これほど実践経験豊富で魅力的な素材も少ない。Recceの隊員は、民間軍事会社の始祖であるExecutive Outcomes (EO社) にも流入している。

EO社は、アパルトヘイト時代、南アフリカ国防軍の精鋭第32

大隊の副大隊長だったアーベン・バロウズ元中佐が、マンデラ政権で失業した、第32大隊、Reccce、koevoet、それと敵だった民族の槍（ゲリラの実戦部隊）。これらの隊員を集め、合法的に株式会社として南アフリカに拠点を置いた実戦経験者の多い人材派遣会社だ。

アンゴラやシエラレオネでの活躍は歴史的事実で、この会社が嫌いな人間でも否定できない成果をあげている。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9344z/>

南アフリカ軍事史1975 - 1988

2011年12月29日05時50分発行